

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2023年11月10日 報告者:Y.M

山行名	筑波山(裏筑波周遊コース)			(877m/茨城県)
実施日	令和5年11月08日(水) 日帰 14人乗ハイエース利用			
天候/参加人員	天候:終日快晴、レベル:★ 参加者:申込12名/実施11名			
パートスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用(交通費)	約5,200円(交通費¥5,183+カンパ金¥17)			
5,200円	ハイエースレンタル料金¥20,020、ドライバ謝礼¥20,000、燃料代(@155x400/8)¥7,750、高速料金((圏央厚木-常総往復)@4,620x2)¥9,240/交通費合計¥57,010/11人⇒一人当たり交通費:¥5,183			
カンパ金¥190円	集金(¥5200x11人)¥57,200-費用合計(交通費)¥57,010⇒残金:¥190(カンパ金)			
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間*	・往路アクセス時間(本厚木駅前⇒深峰) 3:55 ・帰路アクセス時間(キャンプ場⇒本厚木駅前)4:49 歩行数:~12,000歩
ガイドブック	2:30	—	—	
計画	3:00	2:00	5:00	
実行	3:18	1:04	4:22	
実行コースタイム記録				
ハイエース	圏央道	(休憩)	+ (トイレ休憩)	裏筑波観光道路 0:22
(始発) 鷲尾⇒荻野新宿・林⇒旧ヨカ前⇒圏央厚木 IC⇒狭山 PA⇒常総 IC⇒道の駅常総⇒深峰登山口駐車場				
6:00	6:27	6:45	7:46/7:56	9:10 9:15/9:42 10:40/10:50
0:18	0:09 (昼食)	0:25	0:17	0:40 0:05 (女体山 0.9km/キャンプ場 0.7km)
標高 650m ベンチ	階段口(780m)	御幸ヶ原	男体山	御幸ヶ原
11:12/11:15	11:33	11:42/12:15	12:40/12:45	13:02/13:10 13:50/14:00 14:05 14:40/14:45
(体操/トイレ)	(買い物/トイレ)	圏央道	(休憩)	1時間強の渋滞あり
筑波高原キャンプ場⇒道の駅常総⇒常総 IC⇒狭山 PA⇒圏央厚木 IC⇒本厚木駅⇒ヨカ前(林・荻野新宿)⇒鷲尾(終着)				
15:12/15:26	16:25/16:55	17:00	18:57/19:15	20:00 20:15 20:30頃
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>◆実施計画策定の経緯: 現シニアメンバが過去に何度か立案実施した TTC 主催筑波山山行は、濃霧で視界のない霧氷の中を登ったり、大雨に降られ、片道ケーブルカーを利用した苦しい思い出ばかりで、好天の中を登ったという記憶がない。そこで、恐らく現シニアメンバ主催としては最後になるだろう筑波山登山を青空のもとで完遂したい。しかも、これまで足を踏み入れたことのない未踏のコースから自分の足のみで、できるだけ楽に頂上に立つことを最優先にした筑波山登山を立案することにした。裏筑波エリア(筑波山の北側)に観光道路があり、標高 550m の深峰登山口や標高 500m のキャンプ場から、筑波山に登下山する計画を立案・実施することにした。</p> <p>◆11/08(水)実施状況: 地元自治体から観光道路や登山道の情報を得て、最後は登下山口を下見し、9/6 実施と決めしたが、当日は生憎の悪天候で中止。エントリーメンバのスケジュール調整を経て、紅葉期の 11/08 に再催行することにした。</p> <p>11/08 朝、メンバ 11 人が 14 人乗ハイエースに乗車して厚木市を出発。圏央道を一路東に向かい、圏央道常総 IC で下車。筑波山を右に見ながら、山麓を時計回りに大きく迂回して、裏筑波観光道路に入り、深峰登山口駐車場まで、計画より約 30 分遅れの約 4 時間を要して到着した。前日、前線が通過し、関東全域に風速 20m/s 級の強風と大雨をもたらした。上記観光道路とそこからさらに先の筑波高原キャンプ場に繋がる砂利道の林道に、土砂崩れや倒木等の被害がなかったかどうか? 地元桜川市に、前日午後と、実施日朝 9:00am 過ぎの 2 度の電話で道路状況を確認したが、確実な情報が得られなかった。そこで、その場で携帯電話の通話が可能であることを確認した上で、ドライバの I さんには、この場所で待機していただき、CL が林道の情報を得て判断し、この後の対応を、山上から電話で指示するまで、この場所で待機するようお願いして、登山を開始した。</p> <p>深峰登山道は双耳鋒鞍部の標高 800m 御幸ヶ原まで、標高差 250m/距離 1.2km の保全道路を兼ねた筑波山最短登山ルートで、落葉樹にミモ等の針葉樹が混じった深い森の道を約 1 時間登って御幸ヶ原に到着し、早速昼食とした。付近には、ケーブルカーの頂上駅や展望ビル、4~5 軒の茶店が並び、予想どおり、大勢のハイカー、観光客、小学生の遠足団体等で人々が溢れかえっていた。</p> <p>昼食後、筑波山をご神体とする筑波神社の筑波男神(日本神話で日本人の祖神とされるイザナギ神)を祀る標高 871m の男体山頂上に登って、少し霞がかかった関東平野の大展望を楽しんだ。男体山山頂へは、標高差 70m/距離 300m のわずかな登りだが、岩がごろごろした急登で、行きかう登山者の間を縫っての登下山は、予想以上に時間を要した。</p> <p>ケーブルカー乗車待ちの長蛇の列を横目で見て、筑波山最高地点、標高 877m の女体山頂上に向かい、筑波女神(イザナメ神)を祀る社に参拝後、大展望の頂上大岩の上から、眼下の霞ヶ浦、関東平野から日光や丹沢の霞んだ山並を遠望したが、スカイツリや富士山は確認できなかった。下山は筑波高原キャンプ場への標高差 370m/距離 1.6km の落葉の絨毯の約 70 分のなだらかな樹林帯の下りに、メンバ 全員ニコニコ顔。途中出会った登山者は数人。その一人の方から、林道は問題なく通過できるとの情報を得たので、待機するドライバに電話連絡してキャンプ場まで車で出迎えを依頼。百名山登山を無事終え満足して帰路に就いた。途中道の駅常総でミヤゲを買い込み、東北道と関越道の 2 ヲ所の合流地点で渋滞に遭い 1 時間遅れての帰着となった。</p>				